



# 夢チャレンジ



のぶとき りさ 延時 莉彩さん・ほのか 穂佳ちゃん・あきひさ 暁寿さん

延時さん夫妻は久留米市で整骨院を開業されています。昨年養豚業をされているご両親の年齢や、子どもが産まれるのをきっかけに、子育ては田舎でと強い思いから故郷財部へ帰って来られました。

養豚・稲作をしながら財部・中谷校区で整骨院を営まれ、お客様も徐々に増えて、忙しい日々を送っています。さらに今年から遊休地を借り受け、さつま芋・里芋を栽培され、益々忙しくなっています。

「今、農機具を揃えながら雇用も増やし規模拡大して、稼げる農業をしたい。田舎は自然・旬の食材に恵まれ自然の変化を感じられるので、わざわざ遠出しなくてもストレスを感じる事なく生活出来る。コロナ禍になる前にUターンしてきて本当に良かった」と話されています。

(松ノ下)

末吉小の恒例の田植えが、6月12日に行われました。高松地域活動隊（加治木正明代表）18名の協力のもと、5年生84名は、それぞれ雨の中、最後まできれいに植えつけ作業を頑張っていました。10月には、稲の刈取り作業をします。1月に保護者のみなさんといっしょに収穫した米を炊いて「おにぎりパーティー」をするのが、何よりの楽しみだそうです。

(今鶴)



表紙によせて

編集後記

中国武漢で、新型コロナウイルス感染者が発症してから、約1年半が過ぎ、収束しない中、昨年延期となった東京オリンピック・パラリンピックが7月23日に開幕しました。

新型コロナウイルス感染再拡大が懸念されていますが、大会組織委員会が無観客での開催か、または入場者を抑えて開催するかを開幕直前まで議論していたことは皆さんも記憶に新しいことだと思えます。

このような状況下で、大会の成功を支えてくださっている約7万人のボランティアの皆さんを対象としたワクチン接種ですが、開幕までに1回目しか接種ができないとの報道を耳にして、心から無事を祈るばかりです。

日々精進されてきた選手の方々が全世界に夢と希望を届けてくれることを願っております。

(潤合)

私たちが作っています。いろいろなご意見をお聞かせください。

議会広報等調査  
特別委員会



委員長  
潤合 昌昭



副委員長  
重久 昌樹



委員  
松ノ下いずみ



委員  
鈴木 栄一



委員  
岩水 豊



委員  
今鶴 治信



発行責任者  
議長  
土屋 健一

